

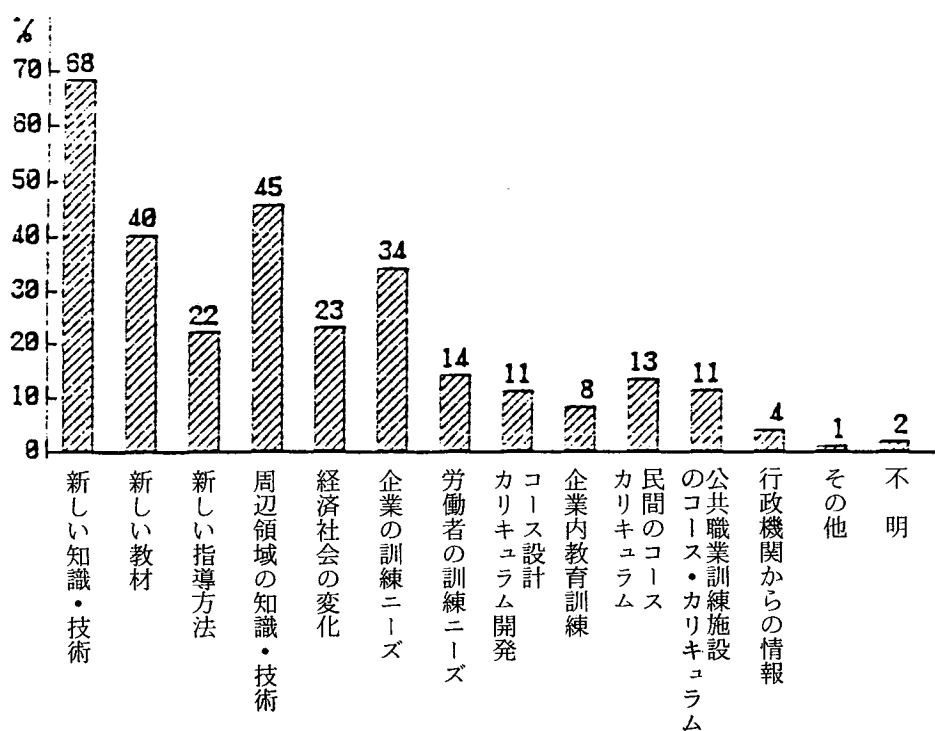
3. 職業訓練に関する情報の現状と問題点

職業訓練の現場では、どのような情報が必要としているか、また、情報を収集するうえでの問題点、要望事項などについて調査を行った。

(1) 必要としている情報

最も必要としている情報は、「担当している訓練に関する新しい知識、技術」で68%の人が必要としている。次いで「周辺領域の専門的知識、技術」(45.5%)、「新しい教材」(39.6%)、「企業の訓練ニーズ」(34.1%)の順となっている(第10図)。

第10図 企画員、指導員が必要としている情報(MA)



「コース設計やカリキュラム開発に関する情報」、「行政機関からの情報」を必要としている人は10%前後である。

環境条件の変化の感じ方によって必要としている情報に相違がみられる。環境条件の変化を「強く感じている」人では、「企業の訓練ニーズ」を必要な情報としている人が36.2%に対し「ほとんど感じていない」人は8%と少ない。このような傾向は、「新しい知識、技術、専門的知識、技術」に関してもみられる。

向上訓練を実施している、または、検討中の人は、実施を考えていない人に比較して「経済社会の変化」、「企業の訓練ニーズ」、「労働者の訓練ニーズ」、「企業内教育訓練に関する情報」を必要としている人の比率が高い。

ME化、OA化の影響が大きい金属、機械加工系、電気、電子系、事務サービス系ばかりでなく、建築、木工系でも新素材や施工法の変化など技術革新の浸透がみられる。

(2) 職業訓練に必要な情報収集に際しての困難点

職業訓練に必要な情報を収集するに際しての困難点として「費用がかさむこと」、「適切な情報がないこと」を約1/3の人があげている。「探す時間がないこと」、「購入など入手に時間がかかる」、「情報の所在がわからない」、「情報の収集、整理、保存に関する知識不足」を約1/4の人が指摘している。「適切な情報がない」、「情報を探す場所が近くにない」という指摘は、都市部では少ないが町村では多い傾向がみられる（第11図）。

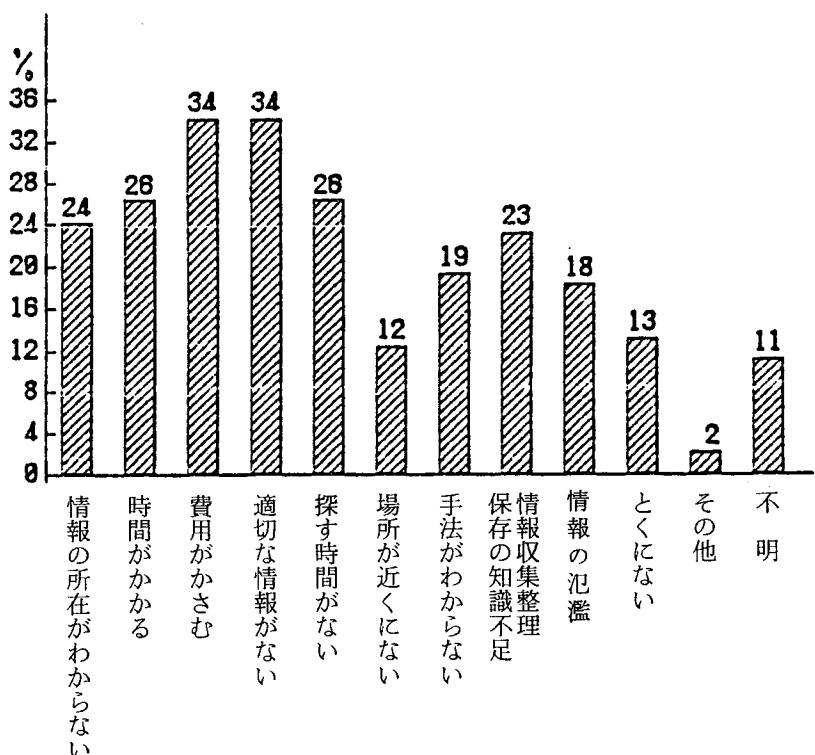
(3) 職業訓練に必要な情報の提供方法

情報提供のあり方に関連して情報誌の内容、研修の充実、情報交換の場の設置、情報提供機能の強化などについて提案がある。

① 情報誌の内容

職業訓練に関する情報誌として簡便で手軽なわかりやすいものを希望している。その内容については、最新の技術情報、新材料、新しい機器、新しい施工法、視聴覚機器の総合目録、職業訓練関係図書、訓練技法、行政機関か

第 11 図 職業訓練に必要な情報の入手困難点 (M A)



らの指針，統計，企業ニーズ，研修情報，指導員の意見，各県の事例，各種学校，専門学校の情報などがあげられている。

② 情報交流の強化

職業訓練に関する情報の収集，提供などの機能のより一層の充実を要望している。

職業訓練に関する情報の交流については，他の公共職業訓練施設，企業，業界などの情報交流の必要性がこれまで以上に強まり，そのための情報交流の場が求められている。

情報交流の場として，職業訓練研究発表会，職業訓練大学校の研修，ハイテクに関する施設，工場，研究所の見学会などを積極的に活用する必要があるものとする意見もあった。